

第7回伊賀市非核平和推進

中学生と島派遣団レポート



市では、8月5日から2日間、市内中学生の代表11人を広島市に派遣しました。参加した生徒は、市内の中学生一人ひとりが心を込めて折った千羽鶴を、原爆の子の像に捧げ、平和記念資料館の見学や平和記念式典への参加を通じて、世界平和への思いを新たにしました。

福島第一原子力発電所事故により、「核」に対する関心が例年以上に集まる中、核兵器のない平和な社会の実現に向けて、私たち一人ひとりにできることを考えるよい機会となりました。参加した生徒のレポートから、「ヒロシマ」の様子をお伝えします。



被爆体験講話

◆崇広中学校 福持 光咲九さん

被爆体験講話で語り部をしてくれたのは森田節子さんです。爆心地にはたくさんの死体が道端にあつたそうです。僕は思いました。なぜ、戦争をするのか、得るものはなにもない。失うのは、たくさんのかげがえのない尊い命です。

◆柘植中学校 中嶋 彩乃さん

森田さんの話を聞いて大きく二つのことを感じました。一つは自分が重傷であっても、ほかの人を助けるという勇気です。もう一つは、やはり原爆の恐ろしさです。

二度とこのようなことを起こしてはいけないと思いました。

原爆ドーム

◆緑ヶ丘中学校 辻 勝仁さん

原爆の威力は思った以上に強力で、それは原爆ドームを生で見ないとわからないことでした。折れ曲がった鉄骨

わってくる建物だと思いました。今、ここに原爆ドームがあることで、原爆を決して使ってはならないし、平和の大切さをもっと知ってもらいたいと思いました。

◆霊峰中学校

森田 真帆さん

2度目の原爆ドーム。やはり、原爆の恐ろしさが一番伝



原爆の子の像

◆丸山中学校 福森 皓平さん

原爆の子の像の前に千羽鶴を捧げました。千羽鶴は、捧げる場所がほとんどありませんでした。

僕は、それを見て世界中に平和を願う人がたくさんいることを知り、やはり戦争はなくなさなければならぬと思いました。

◆島ヶ原中学校 川向 志季さん

今でも、世界中の人たちが平和を願い、色鮮やかな折り鶴を捧げています。被爆した人たちと平和な世界を生きる私たちが一つになったようでした。この思いを、今も核を持つ国々の人

平和記念資料館

◆成和中学校 垣内 博貴さん

平和記念資料館には8月6日のことや核爆弾についてたくさん展示してありました。その中でも投下された当日の町や人々の様子を見たときは、大変衝撃を受けました。

この体験を忘れず、少しでも多くの人に伝えていきたいです。

◆阿山中学校 川上 志保さん

平和記念資料館には、被爆遺留品など数多くの展示があり、目を覆いたくなるほどの衝撃を受けました。戦争の悲惨さや恐ろしさをあらためて認識し、「平和の大切さや命の尊さ」をしっかりと発信していかなければいけないと痛感しました。

平和記念式典

◆城東中学校 福山 智収さん

僕は実際、記念式典に参加をして、世界中の多くの人々が平和を願っていると感じました。

まだ、核実験や戦争などは続いているので、少しでも早く、平和な地球を世界中の人々とともに、築いていきたいと思っています。

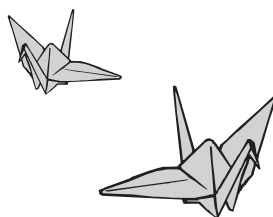
◆大山田中学校 伊藤 風香さん

私は式典に参加して、たくさんの方が平和を願っているというのを感じました。

今年は、地震の影響で再び放射能による被害があり、怖いものだと思いました。だから早く復興して東北にも平和が訪れてほしいです。

◆青山中学校 久木崎 つかささん

式典にはたくさんの方々が参加していて、あらためて原爆は国際的な問題なんだと感じました。「夢と希望があふれる未来をつくるために行動していく」という誓いから、具体的にながさるのかを考えて、実行していきたいです。



【問い合わせ】

人権政策・男女共同参画課

TEL 22・9631

FAX 22・9649